

『人生ハンド伝』12月号（81）【人間の究極目的は、気がつき行動する事】

「光陰矢のごとし」、今年も残すところ後1ヶ月となりました。本当に時の経つのは早いですねえ…そんな感じがします。

毎年恒例になりました、清水寺での1年間を象徴する1文字。昨年は『偽』でした。

さあ、今年の1文字は？皆さんだったら、何の字を当てはめますか？

昨年の『偽』を反面教師に、今年は『真』や『誠』、『仁（おもいやり）』などが当てはまる1年になれば良いなあ…なんて事を今年の初めに願っていたのですが、どうやら今年も昨年の延長で『偽』や『騙（だます）』、『あるいは『嘘』や『我（わがまま）』、『逃（逃げ得）』など、残念ながら自分の浅はかな利益しか考えていない、輩の膿みが露呈された1年だった様に思います。

飲酒運転撲滅どころか、飲酒をしてひき逃げをしても、逃げ切ればOK。見つからなければ平気。「むしゃくしゃしたから誰でもいい、殺したかった」など、とても同じ人間がしたとは思えないような行為を、数多く見聞させられました。

または「オレオレ詐欺」から「振り込め詐欺」なるものに形を高度に変えて、我が子、我が孫を愛する、心配する、そんな親心につけ込んで、年金暮らしでやっと暮らしている御老人達や、親御さんを狙った詐欺は、人間の心理を上手につかんで、信用して騙されやすく、けっきょく数百億円という莫大な大金が振り込まれてしまったそうです。

自分が言い逃れる為に、人の温情を何とも思わず平気で踏みじり、相手が傷つこうが平気で、自分さえ良ければ関係ないといわんばかりの、そんな人間の浅ましい欲から引き起こされる事件事故の数々が後を絶ちませんでした。本当に学習能力がないなあ、成長しないなあ…と、私は憤りをかくせませんでした。

私達には、金銭欲、名誉欲、食欲、性欲、睡眠欲など、どの欲望をとっていても、やはり限りがありません。上限も無ければ下限もないのです。限りがないものをどこまで追いかけるというのでしょうか？夢や目標を思い描くことは大切です。しかし、その夢や目標の先に何があり、その実現によって何をどうしたいのか？そこまで考え行動してこそ、本物といえる様な気がします。

例えば、ただ単に「お金を儲けたい」と言っても、じゃあ「儲けて何に使うの？」。地位や名誉を求める者なら「有名になって、何がしたいの？」。「忙しい毎日だから、自由になりたい」と言うなら、「自由になって何をしたいの？」等々、その先を問いたですと、「その先は分からない」という答えがかえってくる事が多い様です。私達は今一度、自分の胸に手を当ててシッカリ考え直さなければいけません。

「そんな事を言っただって、やりたい事に理由なんて無いよ」という人もおられるでしょう。確かにそうです。しかしそれでは結局、空しいだけではないでしょうか？惰性で生きていても、欲望には限りがないのです。私達には、「当たり前」という事物はないという現実を受け止めなければなりません。

少し視点をズラして考えてみましょう。例えば、何か自分の意に適ったことなら、嬉し

く、幸せを感じて、ややもすれば有頂天になりますが、反対に、意に適わぬ事なら、辛くて苦しく、悩みを抱えてしまいます。こんな事は生きている私達にとって、大なり小なり日常茶飯事ですよね。そんな一喜一憂してしまう私達の願望の基をたずねてみれば、先の先にある、シツカリとした夢や目標という不動の根を張り巡らされていないからではないでしょうか。それを証拠に、誰かの言動に、何かの拍子に、私達は右往左往してしまうのではありませんか。「そんな事は、言われなくても分かっている。しかし神様や仏様じゃあるまいし…」と、そんな声も聞こえてきそうですね（苦笑）。

私達が信仰している『法華経』は、真理を悟られ、仏教を説き示されたお釈迦様の本心であると教えられます。つまり真理の種（核）が説き示されていると言います。その『法華経』を私なりに要約すると、次のようになります。

『私達は自然の中で生かされている事に気がつきなさい。気がつくとは、自分に関わっている周囲に感謝することです。感謝できるとは、悟るということです。悟るとは、周囲に生かされている自分に気がつくということです。気がついたならば、無性の愛情（素直な心）で生きなさい。その心を根底に持ち行動（菩薩行）する時、あなたは成仏しているのです。これを一言で表現すると（南無）妙法蓮華経という文句になります』と。

つまり、**私達自身が仏様である**という事が説き示されているのです。前述した「神様や仏様じゃあるまいし…」というのは、まだ真理の神髄に気がついていないということになります。仏教の究極真理は、『私達一人一人、みんな一人残らず「**仏様**」である』という事に気がつくということです。

自分の身の周りに存在する全ての事物、あるいは好きな人も嫌いな人もみんな、自分にとって無くてはならない大事な存在であり（なかなか思えませんが）、私達は人生をかけて、その事に気がつける自分作りをしなくてはいけないという事を教えられています。

「柳に風と受け流す（右往左往しない心）」「や」「頭を垂れる稲穂かな（感謝心）」「等々。自分は生かされているという事に気がついたならば、欲望の深みにはまる事はないのではないのでしょうか？毎日、一々、気がつける自分作りに精進しましょう。

自分さえ良ければ…という浅はかな気持ちでは本当の幸せ、安らぎを心から感じる事は出来ないでしょう。「自分さえ良ければ」という気持ちで行動する事は、目に見えない犯罪を犯している事と同じだ、と認めていけば間違いないでしょう。

周囲が満たされること、それは自分自身が満たされる事と同じなのです。まずは自分の身の回りで、自分の出来ることをする。誰かの為に何かをさせて頂くのです。例えば笑顔を振りまく事も尊い菩薩行です。ただそれだけで良いのです。その自分の為ではなく、誰かの、何かの為を思っている行動こそが、紛れもなく**菩薩行**。成仏ということなのです。どうか、こういう不動の心から描き出す、夢や目標を実現される事を、年の瀬に、衷心よりお祈りいたします。周囲の平和の為に、自分の幸せの為に…。